

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	2	19	木	9:00	17:00	脚折菜園・太田ヶ谷	8
活動名称	小彼岸桜菜園への移植、太田ヶ谷の森苗床への移植					報告者：小沼	

### ＜活動目的＞

会員が自宅で育てた小彼岸桜苗を脚折菜園に移植し、これから1年間育苗する。また、脚折菜園で育苗してきた3年目・4年目の苗を太田ヶ谷の森苗床に仮植えし、次の出荷に備える。

### ＜主な活動内容＞

#### （脚折菜園）

- 脚折菜園で育苗してきた以下のものを掘り出し、プラポットに入れ、太田ヶ谷の森の苗床に搬送するため、軽トラに積む。  
小彼岸桜：42本、越生桜公園から譲り受けた桜：7本、暖地サクランボ：11本  
（ゆすら梅の実には枝に直接着き、暖地サクランボは枝についた軸の先に実が着く）
- 会員が自宅で育て、菜園に搬入した小彼岸桜本数は以下の通り。  
杉山：89本、柳川：5本、村上：43本、阿部：9本、金：1本、橋本：105本、脚折菜園一坪苗床（橋本・金・小沼）：200本 合計：452本
- 具体的作業手順
  - ・ 苦土石灰、腐葉土、もみ殻、牛糞、化成肥料を入れ、耕運機でかき混ぜ苗床を作る。
  - ・ 5穴マルチを張り、5穴のうち3穴に75cm支柱を挿したものを1穴おきに挿す。
  - ・ 従来、マルチは1列であったが、今回は本数が多かったので2列とし、苗間隔も2穴から1穴と短くした。南側マルチに207本、北側マルチに177本 計384本の支柱をセットした。
  - ・ マルチを外す。
  - ・ 支柱の東側を掘り、小彼岸桜苗植え、支柱と苗木を留めひもで縛る。支柱の周辺に水が流れないようダムを造る。
  - ・ 植えた支柱・苗木に上からマルチをかぶせる。
  - ・ マルチの両側に土を盛り、マルチを固定させる。マルチに180cmいぼ支柱を横たえ、風でマルチが剥がれないようにする。
  - ・ ホースで十分に冠水する。

#### （太田ヶ谷の森苗床）

- 軽トラで搬入した苗木を苗床に埋める。
- 苗床の周囲に鉄支柱を挿し、トラロープで囲う。
- 水タンクから冠水

### ＜課題・評価＞

会員が育てた400本近い本数を脚折菜園に設置することができ、今後の桜需要に十分対応できることができた。なお、桜の嫁入りに苦労することにもなった。

作業日は強風であったので、支柱に縛った苗木に上からマルチをかぶせる作業が難航した。

また、太田ヶ谷の新規苗床予定地は、ガラが多く、シャベルが入らず、ツルハシで掘ってからの植え込みとなり、手間取った。

#### ＜里山参加会員＞

牛島、石樽、金、橋本、柳川、阿部、小嶋、小沼

<活動写真>

(脚折菜園)



(太田ヶ谷苗床)

